

Planning and CoordinationMACHINE TIME EXECUTIONREPORT (2002-4-1 CYCLE)

Experimental Group	T529(π AX)	Reporter	篠原厚
Scheduled Period and Shift	11/6 9:00 - 11/19 9:00 38 shifts	Main, Sub, Para	Para
Experimenters 二宮、笠松、重川、八津川、高宮、横山、篠原			
<p>SUMMARY OF EXECUTION AND RESULTS</p> <p>1) 新セットアップ立ち上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新チェンバーのセット、カウンターセット ・チェンバー立ち上げ、テスト ・ビームチューニング ・低エネルギー用検出器のセット、テスト <p>2) 測定テスト・基礎データ測定</p> <p>3) 結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立ち上げ完了 ・低エネルギー領域の測定に問題アリ、検討中 ・基礎データ測定開始、データ収集中 (各種金属箔、酸化物、std試料) 			
<p>EXECUTED MACHINE TIME, BEAM CONDITION, DOWN TIME etc.</p> <p>マシンタイム : $(38 - 12) \times 0.7 / 1.0 = 18$ shifts</p> <p>ビーム状態 : 低め安定 $0.6 - 0.7 \times 10^{12}$ ppp</p> <p>DownTime : 11/7 - 11/11 約 12 shifts ダウン</p>			
<p>COMMENTS</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全て新しい系にしたため、立ち上げに時間がかかりました。特に低得ベルギー領域の測定には問題がありますが、なんとか現在順調に測定が進んでいます。 ・積分の統計が最終的には問題になるため、より強いビームもしくはマシンタイムが望まれます (テスト実験ゆえ要求しにくいですが)。 			